



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和3年 7月14日

No.11

児童数 75名

校長 宍戸 与一

梅雨の晴れ間の「夏の空」

梅雨の不安定な天候が続いています。時折見られる晴れ間には青空に白い雲が浮かび、夏の空を感じます。本格的な夏の訪れも近くなり、1年生が植えたアサガオがきれいな花を咲かせ始めました。2年生が育てているミニトマトもぐんぐんと成長し、小さなかawaii実が付き始めています。一人一鉢で育てている植物には、子どもたちの愛情が込められ、毎日熱心に世話をする様子が見られます。アサガオの開花やミニトマトの実りを報告してくれる子どもたちの目はきらきらと光り、格別の喜びにつながっているのが分かります。夏休みには各家庭に持ち帰り、世話を続けていただくこととなりますが、どうぞよろしくお願ひします。

植物だけではなく、子どもたちも着実に成長しています。漢字・計算チャレンジテストにも一生懸命取り組みました。「1回で合格できました」と教えてくれた子どもの満面の笑み。一人1台のタブレット端末、子どもたちの対応力には改めて驚かされます。どんどん使い方を覚えて活用しています。この吸収力を生かし、よりよい活用の仕方を学校でも研究していきたいと思ひます。



あじさいの花をゴールにかたつむり

この時期になるとふと思ひ出します。いつも厳しく指導していただいていた(笑) 教頭先生の俳句です。

冗談交じりだとは思いつつ、その時の話が忘れられません。

あじさいとかたつむりを、人の歩む姿にかけた俳句。「ゆっくりでもいい、焦らずにじっくりと人生を歩めばいいのよ。私もかたつむりのように、ゆっくり、自分らしく、焦らずにがんばってるの。与一さんもね」と。

10年以上経ちますが、いまだに思ひ出されます(*^▽^*)

感謝しております。

